

TTC 山行実施記録表(提案)

2012年8月5日 報告者:川越茂人(1/2)

山行名	北ア穂高岳縦走(北穂高岳・奥穂高岳・前穂高岳) [3,190m 長野県]								
実施日	2012年7月28日(土)~30日(月)			2泊3日			マイカー利用		
天候/参加人員	天候:7/28 晴れ時々曇り、7/29 曇り時々晴れ、7/30 晴れ時々曇り レベル:★★★ 参加8名								
パーティスタッフ	CL/計画: SL:稲生 会計: 救護: 写真: スタッフ名削除								
参加メンバー	A班: ☆、、(ドライバ`1)、(ドライバ`2) 氏名削除				B班: ☆ (ドライバ`1)、(ドライバ`2) 以上男性3名、女性5名				
費用 ¥28,000- カンパ金 ¥2,300-	内訳:マイカ使用料(@10×500km×2台)¥10,000、ドライバ`謝礼(@5,000×2×2台)¥20,000 燃料代(@136×500/8×2)¥17,000、高速道路料金(@2,000×2+@2,750×2)¥9,500 タクシー(@4,000×2×2)¥16,000、駐車料(@500×3日×2)¥3,000、 宿泊湊沢小屋(@8,900×8)¥71,200、宿泊穂高岳山荘(@8,700×8)¥69,600、入浴料(@700×7+500JAF割引)¥5,400 支出合計¥221,700- 集金(@28,000×8)¥224,000- 差額¥2,300-をTTCカンパ金とする。								
	歩行時間			休憩時間			行動時間		
	7/28	7/29	7/30	7/28	7/29	7/30	7/28	7/29	7/30
ガイドブック	6:10	5:35	7:10	—	—	—	—	—	—
計画	6:10	6:00	7:50	1:20	1:20	1:50	7:30	7:20	9:40
実行	6:25	6:40	8:50	1:18	1:30	2:00	7:43	8:10	10:50
実行コースタイム記録									
◆ 7/28(土)									
0:50 0:05 トレ・朝食 1:18 0:20 0:47 本厚木===相模湖IC===談合坂SA===諏訪湖SA===松本IC===沢渡===タクシー=== 3:45 4:35 4:40~5:10 6:28~6:40 7:07 7:54 ~ 8:15 トレ休 0:56 0:57 0:57 昼食 1:00 1:00 0:35 1:00 バスターミナル—明神—徳沢—横尾—本谷橋—1985点—(Sガレ)—2105点—湊沢小屋 8:35~8:47 9:43~53 10:50~11:00 11:57~12:35 13:35~45 14:45~50 15:25~30 16:30									
◆ 7/29(日)									
1:20 1:25 0:20 0:15 1:20 昼食① 1:40 昼食② 0:20 湊沢小屋—南稜鎖場—南稜分岐—北穂高岳—南稜分岐—2975点—湊沢岳—穂高岳山荘 5:50 7:10~7:20 8:45~8:55 9:15~9:30 9:45~10:00 11:20~40 13:20~40 14:00									
◆ 7/30(月)									
0:55 1:15 0:35 0:40 0:35 0:40 0:55 1:00 穂高岳山荘—奥穂高岳—(休憩)—紀美子平—前穂高岳—紀美子平—(休憩)—(休憩)— 5:00 5:55~6:10 7:25~35 8:10~8:15 8:55~9:15 9:50~10:05 10:45~50 11:45~50 昼食 1:05 0:50 0:20 0:25 0:45 一岳沢小屋—(休憩)—(休憩)—上高地バスターミナル===タクシー===沢渡===梓湖畔の湯=== 12:50~13:20 14:25~35 15:25~30 15:50 ~ 16:05 16:30 16:40~18:10 0:25 1:20 0:10 1:10 松本IC===双葉SA===談合坂SA===相模湖IC===厚木市内各所 18:55 19:20~50 21:10~20 21:30 22:40									
概要・特記事項・反省事項等									
◆ 7/28(土)									
朝、メンバーをピックアップするために3時前に自宅を出発。最初に森の里へ行ったがHMさんの姿が無い。電話を掛けたら起きたばかりのようで、「すぐ行きます！」との返事。ピックアップ中に集合時間となり、待ち合わせ場所をヨ一カド前から談合坂へ変更した。厚木市内を多少遅れて出発したが、道路が空いていたので挽回でき、談合坂の駐車場で合流できた。ここで朝食を取り全員揃って2台の車で出発。空は明るくなってきたがうす曇りで、予報ではところによっては夕方雨とのこと……、降らないことを願いつつ沢渡へ向かった。 駐車場は沢渡大橋バス停そばの梓第一駐車場(200台)に停めた。タクシーが待っており、上高地まで1台4000円であった。バスは一人1200円なのでバスより早く安い計算になる。後で分かったことですが、タクシー料金は沢渡—上高地間は4000円に協定で決まっていた。 上高地バスセンターに着き準備体操をHMさんの号令で入念に行ない、出発。河童橋で記念撮影し明神へ向か									

う。梓川沿いに広い歩道を歩く。明神到着後日陰休憩し、水分補給して出発。しばらくしてからKMさんが明神に水筒を忘れたとのこと。戻る必要はないとのことなので徳沢へ進んだ。徳沢で休憩しているとKMさんが大きな声で「あった！」と、水筒が見つかったようです。暑さと寝不足のせいかもしれない。休憩後、出発するときは「忘れ物確認！」と声を掛けあった。横尾に着いた時は木陰に座り弁当を食べました。

横尾大橋のところで写真を撮りこの先は登山道なので班毎に列を組み進みました。ここから山小屋まで歩行3時間のコースですが、16時までには着きたいとの思いからCLの足が多少早くなったようだ。横尾谷沿いの登山道を歩き左手に迫りくる屏風岩を時々見ながら、ようやく本谷橋についた。休憩後出発しようとしたとき、立ち上がったKAさんの左足(太もも)がつってしまったとのこと。塩分やアミノ酸を補給し治まった後、ゆっくり進み始めた。しばらく行くと、今度は右足の太ももがつってしまった。寝不足と暑さと歩行ペースが早かったと思われるが、再度塩分やアミノ酸を補給し休憩した。KAさんのザックを皆で分担して荷物を持つようにした。涸沢に出ると、雪渓がたくさん残っておりひんやりした空気が沢を下ってきた。雪は多いがステップが切られているのでアイゼンは不要だった。テント場を通りゆっくりしたペースで時々休憩しながらようやく涸沢小屋着くことができた。

宿泊手続きをし部屋に入ると12人部屋で家族4人連れと一緒にだったが、この時期としてはゆったりしたスペース(二畳に3人)でした。夕飯までには時間があるのでテラスへ出て皆で宴会を行った。眼下には涸沢が見えその向こうに前穂があり右側に連なって奥穂そして涸沢岳が一望に見えた。素晴らしい景色を見ながらビールやウイスキー、梅酒を飲みながら皆で談笑を楽しんだ。夕食後は寝床に入り、この日はぐっすり休んだ。夜は一時土砂降りだった。

◆7/29(日)

朝4時半に起きたが、既に雨は上がっていました。KAさんの足の具合を確認したところ大丈夫ということと闘志満々に見えたので登ることにしました。朝食は5時からとれたので6時前には出発できました。北穂までのコースは最初雪渓の横を登りその後ジグザクに斜面を登った。KAさんの足は大丈夫とのことだったが、若干呼吸が乱れていた。ので大事をとり荷物の一部をKMさんと私で分担して北穂へ進むことにしました。途中お花畑が休憩する度に目に飛び込んできた。長いハシゴのところでは団体が下山してくるので渋滞があった。先に並んでいた二人連れが待ちきれず右横の岩場をよじ登って行ったが、我々がハシゴを登り終わってもまだハシゴへ戻れず岩場で奮闘していました。

南陵分岐に着きザックをデポし北穂へ向かった。途中雪渓の急な斜面が3mあり慎重に登った。山頂はガスで見通しがきかず大キレットや槍ヶ岳が全く見えなかった。記念撮影を終え南陵分岐へ戻った。

ここから涸沢岳までが今回の核心部で難所の連続であった。ガスがかかっている為か高度感はあまり感じなかった。足場は整備されているのでしっかり掴まっていれば不安はない。とにかく両手両足をフルに使い夢中で登った感じである。涸沢岳手前の鎖やピンの岩場を登り終えて下を覗き込むと山の下の方までほぼ垂直に切れているように見えた。ようやく涸沢岳に到着した。途中涸沢の科尔付近で軽く昼食をとり、山頂でも昼食の続きをとった。ここまでくればもう安心とくつろぐことができた。下山し穂高岳山荘到着すると、難所を無事に踏破できたことを喜び、お互いに握手を交わした。

山荘の宿泊手続きを行った。明日の歩行に余裕を持たせる為に、出発を5時に早めた。朝食が間に合わないの朝も弁当にした。山荘は混んでいるようで一畳に二人の16人部屋でした。夕食まで時間があるので外へ出て皆で乾杯を行った。眼前に涸沢岳を望み、右眼下には涸沢そしてその向こうには常念岳が見えた。背後には奥穂へ通じる絶壁のハシゴが見えた。素晴らしい景色の中で仲間と飲みながら談笑する贅沢なひと時であった。夕食後も相部屋の人達が来なかったのでKKさんが確認したところ我々だけとのことなので、ゆったりと寝ることが出来た。

◆7/30(月)

朝4時前に起き、荷物を整理し弁当を食べ予定通り5時に出発した。奥穂への鎖とハシゴを登り山頂へ向かう。天気は良く、下界には雲海が見え、昨日見えなかった槍ヶ岳の雄姿がくっきりと見る事ができた。絶好の日和であり、この絶景を我々が独り占めしているような心持であった。山頂は狭いが360度の大展望である。笠ヶ岳、乗鞍岳、御嶽山も雲海の上に見える。途中ジャンダルムも右手に見えていたが、山というよりは巨大な石柱の繋がりのように感じられた。2年前に来たときはガスで何も見えなかったのでこの大展望はうれしかった。

この後、吊尾根を通り紀美子平へ向かった。ここも岩場の連続で緊張感が続く。紀美子平でザックをデポし前穂に向かった。両手両足を使い山頂へ登った。山頂で大展望を楽しみ紀美子平へ下った。

紀美子平から岳沢ヒュッテまでは、尾根から沢へ下る重太郎新道で気の抜けないコースだった。幾つかの鎖やハシゴを下り、途中お花畑が何か所もあった。無事に岳沢小屋(旧岳沢ヒュッテ跡に再建され名前も岳沢小屋に改称された)に到着しここで昼食にした。小屋でラーメンを食べた人もいた。

ここまで来ると、下界は暑いと感じた。上高地までのやや平坦な登山道を下った。途中天然クーラーがあり、岩場の前に立つと涼しくて離れがなくなった。下山を続けようやく河童橋を渡りバスターミナルに到着。整理体操後タクシーで沢渡に向かった。

駐車場から梓湖畔の湯まで300mあったので車で行くことにした。駐車場は無料であったが入浴料は700円であった。最初から沢渡大駐車場を利用すれば入浴料は500円となるようだ。3日分の汗を流した後、会計報告のまとめを行った。何故か現金が余ってしまった。再度計算し直したが勘定が合わない。どうも余分に払った人がいるようだ。気づいた人は後でCLに連絡をもらうことにして、帰路についた。班編成していたので班ごとに集めて、一度確認していれば良かったと反省。

帰路は諏訪湖SAで食事をとり、談合坂SAで休憩した。相模湖駅やそれぞれの最寄りのところまで送るので談合坂で解散とした。

今回は緊張の山行であったが天候に恵まれ、予定のコースをとることが出来ました。メンバーと共に楽しく山行が出来たことをうれしく思っています。ありがとうございました。